

平成30年度 公立学校施設の耐震改修状況フォローアップ調査
の結果(文科省調査抜粋)について

【構造体の耐震化整備状況】

(平成30年4月1日現在)

表1 構造体:コンクリート造、鉄骨造等の躯体

学 校 区 分	年度	耐震化率			耐震性のない 建物数 (奈良県)
		奈良県	全国平均	順位	
幼 稚 園	H30	89.6%	94.6%	38	23棟
	H29	(85.5%)	(92.9%)	(40)	(32棟)
小 中 学 校	H30	99.5%	99.2%	27	8棟
	H29	(99.3%)	(98.8%)	(27)	(11棟)
高 等 学 校	H30	89.9%	98.2%	46	31棟
	H29	(87.3%)	(97.9%)	(46)	(39棟)
特別支援学校	H30	100.0%	99.4%	1	0棟
	H29	(100.0%)	(99.4%)	(1)	(0棟)

※ 調査時点は、両年度とも4月1日現在

※ H30.4.1現在 小中学校(非木造)耐震化未完了の市町村(耐震性のない建物数、完了見込年度)

・奈良市 (3棟、完了見込未定)

・大和高田市 (1棟、完了見込平成30年度)

・天理市 (4棟、完了見込未定)

※ 高等学校については、県立及び市村立を含む(県立高等学校に係る耐震化率はH30.4.1時点で90.0%)

なお、現時点(H30.8.28時点)において、県立高等学校の耐震化は2022年度完了見込

【屋内運動場等の吊り天井等の落下防止対策】

(平成30年4月1日現在)

表2 一定規模以上の天井を有する屋内運動場等の耐震対策

学 校 区 分	屋内運動場 等の全棟数 (※1)	うち吊り天井を有する棟数 (※2)			うち吊り天井を 有していない 棟数
		対象棟数	耐震対策済 棟数 (※3)	耐震未対策 棟数	
幼 稚 園	1棟	0棟	0棟	0棟	1棟
小 中 学 校	335棟	12棟	6棟	6棟	323棟
高 等 学 校	79棟	7棟	1棟	6棟	72棟
特別支援学校	14棟	1棟	1棟	0棟	13棟

※1 「屋内運動場等」とは、体育館・武道場・講堂・屋内プール

※2 調査対象は、高さが6mを超える天井又は水平投影面積が200㎡を超える天井を有するもの

※3 吊り天井・照明器具・バスケットゴールの全てについて落下防止対策を実施したものを対策実施済みとする

【屋内運動場等の吊り天井等以外の非構造部材の耐震点検及び耐震対策】

※非構造部材:天井材、内装材、外装材、照明器具、窓ガラス、設備機器、家具等 (平成30年4月1日現在)

表3 屋内運動場等の吊り天井等以外の非構造部材の耐震点検及び耐震対策

学 校 区 分	耐震点検(※1)実施率		耐震対策実施率(※2)	
	奈良県	全国平均	奈良県	全国平均
幼 稚 園	100.0%	(78.5%)	13.0%	(39.8%)
小 中 学 校	100.0%	(84.2%)	18.5%	(39.6%)
高 等 学 校	100.0%	(91.5%)	0.0%	(36.9%)
特別支援学校	100.0%	(89.0%)	0.0%	(39.2%)

※1 「耐震点検」とは、「学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック(平成27年3月改訂版)」に基づく、
学校教職員等又は学校設置者(専門家)による点検

※2 全学校数のうち学校設置者(専門家)による耐震点検の結果、耐震対策が不要又は耐震対策が完了した学校数の割合